

敦賀市教育委員会  
教育長 花木 秀実 様

敦賀市社会教育委員の会  
会長 徳本 達之

## 提 言 書

### 「人々とのつながりの創出 ―魅力あふれる地域づくり―」 (社会教育との関連において)

#### <はじめに>

人口減少や少子高齢化、コロナ禍による人々とのつながりの希薄化、地域や団体の担い手不足等が顕在化するとともに、多くの地域課題に直面する現在、社会教育の分野においても社会教育団体の減少や地域の教育力が低下傾向にあることが指摘されている。このような状況にあつて、地域コミュニティの維持・継続や地域の教育力の向上の他、多くの課題解決に対して、社会教育が果たす役割は大きなものがあると捉えている。

そこで、敦賀市社会教育委員の会では、令和6・7年度の2年間にわたつて「地域の課題解決へ豊かな学び」、「人づくり、つながりづくり、地域づくり」を視点に自主研究テーマ「人々とのつながりの創出 ―魅力あふれる地域づくり―」を設定し、協議・研鑽や現地視察を進めてきた。

敦賀市では令和8年3月現在、4地区公民館で地域コミュニティ運営協議会が地域づくりを推進し、子どもや地区住民、各団体同士が連携し、人とのつながりを深める事業を通して地域振興を模索している。他の5地区公民館でも、地区住民が連携する事業を企画し進めているところが増えている中、令和8年4月から公民館がコミュニティセンター（以下：コミセン）へと移行し、所管も教育委員会から市長部局へと移る準備を進めているところである。

令和7年10月には、社会教育委員の他、4地区の地域コミュニティ運営協議会役員、公民館職員とともに、先進的な取り組みを進めている鯖江市北中山公民館と坂井市大関コミュニティセンターを視察し、その運営内容とまちづくり協議会・委員会の取り組みを学ぶことができた。視察によって、改めて社会教育は人づくり、つながりづくり、地域づくりを進め、人や地域を豊かにする役割を担っていることを確認することができた。さらに、公民館（コミセン）を地域の拠点として、魅力あふれる地域づくり、持続可能な地域づくりを進めるための仕掛けづくりを考えていくことの必要性も認識することができた。

コミセン化元年（スタート）に当たりこれまでの自主研究を踏まえて、人々がつながり、魅力あふれる地域づくりの一端を担う社会教育を目指し、下記のとおり提言をまとめた。

#### 記

#### <提 言>

- 1 電子媒体で地区住民をつなぎ、身近なコミセンとなるよう整備すること
- 2 社会教育委員の会とコミセンとの連携体制を整備し、社会教育における地域課題解決・地域づくりを推進すること
- 3 中高生や若者参画のプログラムづくりを進め、多世代が集うコミセンを運営すること
- 4 コミセン職員の資格取得や職員配置の継続等により専門性を高める環境を整備すること
- 5 地域住民が親しみをもって利用しやすいコミセンの施設を整備すること

## ＜提言内容の補足説明＞

(★)は、社会教育委員の会が伴走支援

### 1 電子媒体で地区住民をつなぎ、身近なコミセンとなるよう整備すること

#### ＜ねらい＞・・・【コミセンを拠点にしたつながりづくり】

- ・知恵を絞りながら地区住民とコミセンとのつながりをつくっていく。講座やイベント、地区の風景等を様々な電子媒体を活用し、子どもや若者も含めて幅広く情報を発信する。

#### ＜留意点＞

- ・市の公式LINEやRCNの電子回覧、9公民館（コミセン）のインスタグラム等を、コミセンの窓口で気軽に相談・登録できる体制づくりを行う。（各地区で目標を決め、できるだけ多くの登録を目指す。）
- ・登録時には、必要な情報のみを選択できる設定があることも伝える。（カテゴリーや地区設定など）
- ・子どもを主体にしたつながりづくりを意識し、電子媒体を効果的に活用して学校と社会教育、学校と地域との連携を図る。あわせて、子どもへ情報が届くよう小中高校に紙媒体で地域やコミセンの情報がわかるチラシなどを掲示していただくよう働きかけていく。（★）

### 2 社会教育委員の会とコミセンとの連携体制を整備し、社会教育における地域課題解決・地域づくりを推進すること

#### ＜ねらい＞・・・【魅力あふれる地域づくり】【連携・情報共有による社会教育の充実】

- ・各コミュニティセンター運営審議会や地区のコミュニティ運営協議会等において、地域課題解決・地域づくりに向けた方針や目標（柱）等、時間をかけて検討し、取り組みを具体化する。
- ・社会教育委員の会にコミュニティ運営審議会役員または地区コミュニティ運営協議会役員を委員として加え、社会教育とコミセンとの連携を図る。

#### ＜留意点＞

- ・地域課題解決のためにどのような地域をつくっていくのか、どのような地域の魅力や宝を磨いていくとよいかを、コミセン化元年である令和8年度によく検討していく。
- ・令和8～9年度にかけて、検討した方針や目標（柱）等を社会教育委員の会で紹介し、共通理解を図る機会を持つ。（★）
- ・地域コミュニティ運営協議会の連絡協議会を設置し、情報交換及び学び合う体制を作る。
- ・地域での魅力づくりの取り組みをとおして、地域の人々の郷土愛を醸成。とりわけ、子どもの郷土愛を育み、シビックプライドへと高める。

※参考：【鯖江市北中山公民館のまちづくり】

- ＜基本目標＞ ふるさと愛に溢れた 美しく安全で 健康福祉の 行き届いた北中山を目指して
- ＜基本柱＞ ふるさと愛を育むまちづくり 美しいまちづくり 快適で安全安心なまちづくり 健康福祉のまちづくり

※参考：【坂井市大関コミュニティセンター】

- ＜基本方針＞ 「豊かな自然のまち大関」「笑顔のまち大関」「助け合いのまち大関」
- ＜基本目標＞ 子どもたちが主役のまちづくり 持続可能な環境のまちづくり 地域福祉のまちづくり 健康のまちづくり 防災のまちづくり 交通安全・防犯のまちづくり

### 3 中高生や若者参画のプログラムづくりを進め、多世代が集うコミセンを運営すること

#### ＜ねらい＞・・・【人づくり・担い手づくりの推進】

- ・中高生や若者が参加したくなるようなプログラムづくりを検討するとともに、部活動の地域展開につながる中高生の居場所づくりを創出する。（できれば、放課後子ども教室との連携も）

#### ＜留意点＞

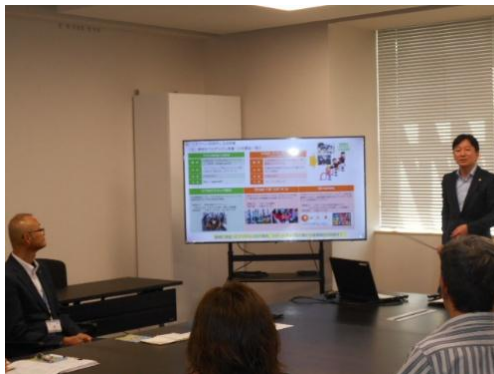
- ・つながりづくりや地域づくりを進める中で、次世代の担い手づくりを進める。
- ・若者や女性、中高生を巻き込んだワークショップ等、多世代の意見を集約する。
- ・多世代のつながりをとおして、子どもや若者、女性がともに活躍できるコミセンの環境づくりを進める。
- ・アンケート「ふるさと敦賀」のこと好きですか？の集計結果において、敦賀がきれいな理由の第1位に上がった【遊ぶ場所・居場所が少ない】の解決策の一つとして寄与できるようプログラムづくりを進める必要がある。地域課題解決のため中高生や若者も参画し話し合う機会をもち、その中で居場所づくりの創造について支援していく。
- ・社会教育委員の会として、中高生や若者参画のプログラムづくりに関わり、各コミセンに情報提供しコミセンとともに協働する。（★）

- 4 **コミセン職員の資格取得や職員配置の継続等により専門性を高める環境を整備すること**  
**<ねらい>・・・【コミセン職員の研修の機会の確保】**
- ・コミセンを拠点に人づくり、つながりづくり、地域づくりを進めていく職員の専門性を高め、社会教育の充実・発展の環境をつくる。
- <留意点>**
- ・県公民館連合会とのつながりを大切にし、研修への参加を促進する。
  - ・コミセン職員のスキルアップを推奨し、資格取得を支援する。(福井大学での社会教育士・社会教育主事講習受講等)
  - ・社会教育や生涯学習、地域づくりに意欲のある職員やコミセン勤務を希望する職員を、コミセンへ配置できるよう配慮する。
- 5 **地域住民が親しみをもって利用しやすいコミセンの施設を整備すること**  
**<ねらい>・・・【多世代の住民がつどい、賑わいを創出する施設づくり】**
- ・コミセンは地域の拠点として、また地域コミュニティを形成する場として利用しやすい施設になるよう整備し、賑わいを創出する。
- <留意点>**
- ・コミセン化元年に当たり、コミュニティ運営審議会及び地域コミュニティ運営協議会の協議等を受けて、地域住民が利用しやすいようにハード面での施設整備を進める。
  - ・コミセンでの事業やイベントの様子を伝える掲示、子どもの声等を紹介するコーナーなど、ソフト面での創意工夫を凝らし、コミセンでの活動を見える化する。
  - ・ハード、ソフトの両面で、いつでも誰でも地域住民が親しみやすいコミセン、利用しやすいコミセンを創出する。

## <敦賀市社会教育委員の会 令和6・7年度自主研究経過報告>

### 《令和6年度》

- ・7月16日(火) 「第1回社会教育委員の会」
  - ・今期の自主研究についてのアンケート集計報告や過去の自主研究テーマについて説明(敦賀方式の経緯)
- ・8月7日(火) 「役員会」(会長・副会長)
  - ・今期(令和6・7年度)自主研究のテーマ案について検討
- ・9月24日(火) 社会教育委員の会「市長と語る会」
  - ・「地域活性化・地域づくり」について(社会教育の分野でできること)



【市長と語る会】

- ・10月31日(木)「第2回社会教育委員の会」
  - ・令和6・7年度自主研究テーマの設定について
  - 「人々とのつながりの創出ー魅力あふれる地域づくりー」に決定
- ・2月14日(金) 「第3回社会教育委員の会」
  - ・令和6年度自主研究経過報告の取り組みについて(報告)

《令和7年度》

- ・7月10日（木） 「第1回社会教育委員の会」
    - ・自主研究テーマの確認「人々のつながりの創出 ―魅力あふれる地域づくり―」
    - ・令和7年度の1年間のスケジュールの提示（現地視察の行先の提案）
  - ・7月29日（火） 「鯖江市・敦賀市社会教育委員による意見交換」
    - ・両市の社会教育活動の紹介
    - ・交流ワークショップ  
（地域活性化と社会教育委員の役割）
  - ・10月24日（金） 「現地視察」
    - ・マイクロバスで現地視察  
～鯖江市北中山公民館・北中山まちづくり委員会～  
～坂井市大関コミュニティセンター・大関まちづくり協議会～  
（11月…現地視察の感想・意見・今後の課題の取りまとめ）
  - ・11月27日（木） 「第3回社会教育委員の会」
    - ・現地視察の取りまとめをもとに、提言にどう反映させるかを意見交換
  - ・1月24日（土） 「ジュニアリーダーとのワークショップ」  
「提言作成のための企画会」（会長・副会長）
  - ・2月12日（木） 「第4回社会教育委員の会」
    - ・令和6・7年度「提言書」（案）の最終確認
- 3月19日（木） 令和6・7年度研究成果の提言書提出



【現地視察：北中山公民館】



【現地視察：大関コミセン】



【ジュニアリーダーとのワークショップ】

敦賀市社会教育委員 名簿

（令和6年度）

徳本 達之	木原 茂子	西島 由佳里	中内 月美	杉原 令子
別司 芳子	平山 英一	大門 豊子	林 恵子	寺田 徹也
山本 久雄	中山 勝裕			(12名)

（令和7年度）

徳本 達之	瞿曇 俊雄	橋本 雄一郎	中内 月美	杉原 令子
別司 芳子	高山 俊之	大門 豊子	林 恵子	望月 ますみ
岡田 由明	中山 勝裕			(12名)